



五中だより

令和4年12月13日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町1-798

リセットすること

校長 伊藤 克行

2022年、令和4年もいよいよ後1ヶ月となりました。当たり前ですがまもなく2023年、令和5年を迎えます。毎年新年を迎えると思いを新たに新年の抱負を考えたりします。このような習慣は日本だけのものではないようです。世界中の人々が節目節目で新たな自分や世の中の発展を思い描いているのです。

新年の抱負を考えると、皆さんはどんな風にしていますか。多くの人が「今年できなかったけど、来年こそは」そんな気持ちで新年の抱負を考えたりするのではないのでしょうか。他にも4月の新学期、夏の3年部活動引退と新チーム発足時、10月新生徒会発足時など、今までのことを振り返って、新しい体制やタイミングでやりたいことを考える習慣は、皆さんの生活の中に多く存在しているように思います。先日のサッカーワールドカップ第1戦日本対ドイツ戦、第3戦日本対スペイン戦なども、日本代表選手はそれぞれの思い（抱負）を胸に、その実現に向け、晴れの舞台に臨んだことと思います。

ところが現実には、自分が描いた理想の姿（抱負）を実現するのはなかなか難しいことです。そこで今年最後に「リセットする」ことについて話したいと思います。

「リセット」とは“re(リ) 再度”、“set(セット) 整える。”「今までにあったことをまっさらにして、もう一度新たに整える」という意味です。私がとても大切だと感じているのは「今までのことをまっさらにする」ということです。

新年の抱負を考えるときに、どうやったらそれを実現できるかを考えることはもちろん重要です。しかし今までの自分を振り返って、できないことをできるようにしたいと考えるときには、できない自分を引きずってしまうことが多いです。だからこそ夢の実現のためには、今までの自分を「リセットする」ことが重要だと思うのです。

先ほど例に挙げたワールドカップ初戦で強豪ドイツに向かった日本代表選手の最初のゴールはオフサイドで無効となり、その後結局ドイツに先制ゴールを奪われることになります。選手たちの心に「やはり無理か」そんな思いが胸をよぎったのではないのでしょうか。監督の素晴らしい采配のもと、今までの状況を引きずるのではなく、気持ちをリセットして、ここから再度、自分たちのプレーを整えたのだと強く感じました。

この冬休みに新年を迎える皆さんが、なりたい自分、実現したい夢を考えると、少しだけ視点を変えてリセットしてくれたら嬉しいです。今までの自分をまっさらにして、新しい自分の姿を考えてみませんか。何回やってもできなかった今までの自分を捨て、新しい自分が成功を収めているイメージを浮かべていきましょう。年明けには3年生は受験が、1、2年生はスキー教室が控えています。それでは皆さん、健康に気をつけて、良いお年をお迎えください。

恒例の「落ち葉掃き」ボランティア活動

毎年この時期になると路上いっぱいになる落ち葉をきれいにするため、五中では学年ごとに希望者を募集し、各学年3回ずつ始業前の早朝、ボランティア活動を行っています。悪天候で中止になった日もあり



ましたが、今年もたくさんの生徒が参加してくれました。



近隣の方からお礼のお電話を頂くほど学校周りをきれいにしてくれました。きれいになると参加した生徒もいい気持ちになりますが、周りの方からも感謝されるなんて素敵ですね。参加した生徒の皆さんありがとうございました。

産休代替教員着任について

保護者の皆様へのお知らせが遅くなってしまいましたが、産休に入った宮崎頼子先生の代わりに10月14日(金)より元木隆太先生が着任しました。元木先生には宮崎先生と同様、保健体育と2学年副担任をお願いしています。他にも部活動では男子バスケットボール部とソフトテニス部のサポートに入ってもらいます。どうぞよろしくお願いします。

PTA バレーボール大会 優勝🏆

11月3日(木)小平第一中学校体育館でPTAバレーボール大会が開かれました。本校からもPTAチームが参加しました。毎週のように五中体育館で練習してきた成果を発揮し見事優勝いたしました。



1・2年生の保護者会にはお忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご来校頂きありがとうございました。皆様のご協力のお陰で今年も無事に終えることができそうです。

また今月は都合により、学校便りの発行が遅れてしまい申し訳ございませんでした。